NIE実践報告

1．タイトル：☆補足の新聞記事を書こう。

2．学校名

長野県下伊那郡天龍村立天龍中学校

3．実践者名（代表者名）

河野　智枝

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科・地理分野　　13人

6．単元（本時の学習課題）名

さまざまな面からとらえた日本　日本の特色をとらえよう

7．目標（狙い）

個別の調査学習で調べた内容以外の見方・考え方に気付き、広い視野から自分の考えを持たせる。

8．評価の視点

将来の天龍村の高齢化率を予想しその時自分はどうあってほしいかという村長の願いに触れたことで、自らも高齢化する地域を支える重要な一員であることに気付くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

さまざまな面からとらえた日本　日本の特色をとらえよう
全12時間中の12時間目

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①世界の人口分布と変化　＜学習問題＞なぜアフリカは人口増加率の高い国が多いのだろう。（1時間）
②日本の人口の変化と特色　＜学習問題＞天龍村の人口ピラミッドはどんな形をしているだろう。（1時間）
③日本の人口分布　＜学習問題＞どんなところに人口が集中しているだろう。（1時間）
④人口が過密な地域の生活　⑤過疎地域の生活
＜学習問題＞過密地域や過疎地域の様子を絵にしてみよう。（1時間）
⑤ー（1）高齢化率の高い天龍村は、他の地域の中学生にどう思われているのだろう。
（天龍村の高齢化率は県下1位であるという新聞記事とその新聞記事を読んだ中学生の感想を知る）
⑤ー（2）天龍村の高齢化対策について調査活動を行い、新聞を作ろう。
（本物の新聞形式にこだわり、見出しに重点を置いて調査活動の内容をまとめさせる）
⑤ー（3）発表会を開こう。
⑤ー（4）発表会の内容をふまえて、新聞記事の補足の記事を書こう。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

○私たちには、村を支え、村を愛する気持ちを大切にするということが求められている。
○（将来）村には住まないと思うけれど、村のことを愛せるようになりたい。
○若い人の力が必要なので、将来村に残って若者として頑張っていきたい。

12．成果と課題

○本物の新聞の形式にこだわり、見出しに重点をいて調査活動の内容をまとめさせ全体追究で用いたことは、聞き手に興味関心を持たせ調査内容を全体で共有化する手立てとして有効であったと考える。全体追究の方法を今後も模索していきたい。
○生徒に気付かせたい事象に関わる資料や授業内容に関わる方からのお話を提示し授業を展開したことは、より広い視野から自分の考えを持たせる手立てとして有効であったと考える。資料やお話をどのように教材化するのが適切か今後も模索していきたい。